

講義名	金融論(経済学部3年生以上)					授業形態	
担当教員	内山 勝久	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3 時限				
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード	ECN287

主題と概要
この授業は、経済学部の3年生以上を対象に金融論の入門レベルの講義を行い、学生が最低限身につけるべき知見の習得を目的とします。 経済活動においては財・サービスの取引と並んでお金の流れやお金の取引（金融）が重要な役割を果たします。金融に関する知識は社会生活において不可欠ですが、大学生は社会人としての経験に乏しいのでピンと来ない部分も多くあるかもしれません。 授業では我々の生活に身近な金融商品の特長の説明から始めて、金融システムの役割、金融システムやマクロ経済を安定化させるための政策などについて解説・検討し、金融活動を通じた経済の仕組みを学びます。各受講生が卒業後の職業生活で活用できるように、企業金融に関するトピックスについても採り上げる予定です。

到達目標
各受講生が、 （１）わが国の金融システムや企業金融についての基本的なしくみと機能を学び、現代社会における金融の意義と公共性について考察できるようになること、 （２）金融に関する新聞記事やテレビニュースを理解して、経済社会に与える影響を考察して説明できるようになること、 （３）ダイナミックに変化する現実の経済を金融の側面から観察して自分なりの見解を持ち、将来の経済の動きに対して展望を持った課題の解決策を提案できるようになること、を目指します。

提出課題
・期中に中間レポート課題を提出してもらう予定です。期末には期末レポート課題を提出してもらうか、あるいは定期試験期間中に教室での試験を行います。いずれも詳細については授業内で説明します。 ・授業の終了時に、簡単な復習問題（クイズ）を出すことがあります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
提出された課題については、授業内でコメントしたり、授業の内容に反映したいと考えています。

評価の基準
・中間レポート課題40％、期末レポート課題あるいは期末試験60％の比率で評価します。 ・授業内容に関する確かな質問や優れたレポート、復習問題（クイズ）の提出状況に対しては、満点を超えて加点評価します。

履修にあたっての注意・助言他
・この授業は「金融資産の運用方法」（株式投資やFX取引など）を解説するものではありません。そのように考えている学生には期待外れの退屈な授業となるでしょう。履修はお勧めしません。 ・複利な金融制度や金融市場の仕組みを理解するために学ぶべきことは多岐にわたりますので、授業で扱う情報量は多くなります。多少の計算技術も必要になります。膨大な情報を整理して理解を深めるためには授業での集中方と授業後の復習が極めて重要になります。 ・したがって、授業内容は決して易しくはありません。卒業等のために不合格になる学生が例年多くいます。 ・関連する科目に「生活金融論」「業界研究（金融）」「業界研究（証券業）」などがあります。 ・より体系的に金融を学びたい学生には「金融政策論」や「国際金融論」の履修を推奨します。 ・スマホで授業に無関係なサイトの閲覧に興じるとは他の学生の学修意欲を低下させますので、厳に慎んでください（集中力を維持してください）。

教科書				
・特定の教科書は使用しません。				
参考図書				
・金融論（第3版）（ベーシックプラス）	家森信善	中央経済社	2,420	9784502415913
・入門 企業金融論	中島真志	東洋経済新報社	3,080	9784492554682
・金融入門（第3版）	日本経済新聞社【編】	日経文庫	1,045	9784532114213

その他
・担当教員が作成した資料を使用して授業を進めます。資料（PDFファイル）はキャンパスクロス経由で毎回配布します。 ・授業では上記の参考図書を積極的に参照する予定です。授業の復習に有益ですので、入手することを推奨します。 ・その他の参考図書は授業中に必要に応じて適宜紹介します。
授業計画

第1回	イントロダクション： 授業のねらいや金融の初歩的な考え方について （予習）シラバスをもう一度熟読する。事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第2回	金融システムと金融中介机构の役割： 金融システムの役割と銀行の特性について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第3回	銀行以外の金融機関： 信用保証金融機関や証券会社、保険会社などの特徴について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第4回	間接金融型の金融商品： 預貯金や保険商品などの特徴について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第5回	直接金融型の金融商品： 公社債や株主などの特徴について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第6回	企業の資金調達（１）： 金融活動と資金調達、資金調達の形態について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第7回	企業の資金調達（２）： 借入や債権発行による資金調達について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第8回	企業の資金調達（３）： 株式発行による資金調達について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第9回	貨幣： 貨幣の定義や機能、貨幣と物価の関係について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第10回	金利： 金利の決定と新しい展開： 金融政策の手段やメカニズムについて （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第11回	為替・レート： 円高・円安、為替レートの決まり方について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第12回	金融政策： 金融システム安定化のための制度や規制について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第13回	金融政策の目標と日本銀行： マクロ金融政策の目的や中央銀行の機能について （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第14回	金融政策の基本手段と新しい展開： 金融政策の手段やメカニズムについて （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）
第15回	授業の補足と全体のまとめ （予習）事前配布資料に目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） （復習）授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（3時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
この科目の「到達目標」を達成することで、 （１）経済学部経済学科の学生は、卒業時に身につけておくべき以下のような資質・能力が備わります。金融のしくみを知り、現実の金融問題を理解して見解を持つことで、世の中の動き金融の理解につながり、金融問題を自覚する現代の経済社会の諸問題の考察・分析や新たな課題の発見ができる。企業金融のしくみやその背後にある金融システムを理解することを通して、まちづくりなどに必要な資金調達の考え方を身につけ、地域社会の課題解決につながる貢献ができるようになります。 （２）経済学部経済情報学科の学生は、金融が経済活動において重要な役割を果たすことや、金利や為替など日々生成される金融データの性質の理解につながり、金融データを活用した情報の分析ができるようになるといった、卒業時に身につけておくべき資質・能力が備わります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
復習問題（クイズ）などにクリッカー（レスポンス）を利用することがあります。
実務経験の有無及び活用
実務経験あり。 銀行（政府系金融機関）に31年間勤務しました。銀行の融資部門では企業を多面的に審査する金融実務に携わりました。
備考